

VOICES 声 みんなの声

2016(平成 28)年 3 月 20 日発行 29 号 (通常隔月 25 日発行)

社会福祉法人 サンフレンズ 法人事務局地域福祉推進担当広報

〒167-0023 東京都杉並区上井草 3-33-10

☎ 03-3394-9833 Fax 03-3394-9834

メール hozumi-kaneko@3friends.or.jp

ホームページ <http://www.3friends.or.jp/>



社会福祉法人サンフレンズは、地域貢献事業として、来たる 4 月から毎月第 2 日曜日にカフェサロン上井草をオープンします。地域の皆さんも、施設利用の皆さんも、そのご家族の皆さんも、誰もが気軽に立ち寄れる場所で、予約は不要。コーヒー等の飲み物はもちろん、毎回楽しい音楽会等のイベントをお楽しみいただく予定です。お誘いあわせの上、ぜひお越しください。

このカフェサロンの運営を手伝っていただける方を募集しておりましたが、現在、数名の地域の方が手を挙げてくださっています。でも、仲間が増えればもっと面白くなっていくはず…。あなたも、私たちと一緒に楽しい場所と時間をつくっていきませんか？



メニュー 開店 10 時・閉店 16 時

コーヒー、紅茶、茶、ジュース等 200 円。お替り 50 円。
すだちの里すぎなみベーカリー&喫茶のご協力で、調理パンやクッキー等（別売）を販売します。

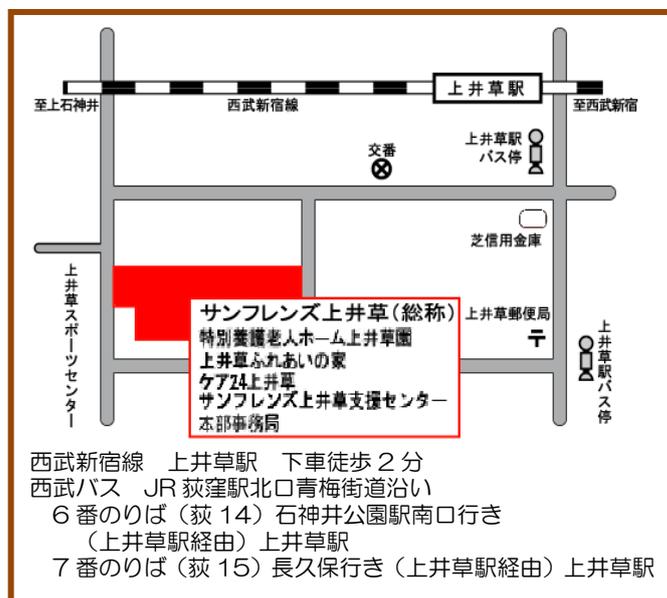


4 月 10 日のライブ出演

11 時～子どもと一緒に春の歌①（金子ファミリー楽団）

13 時～蓄音機コンサート（村松啓三郎）

14 時～ハーモニカと歌おう（平塚元一） 15 時～子どもと一緒に春の歌②（金子ファミリー楽団）



西武新宿線 上井草駅 下車徒歩 2 分
西武バス JR 荻窪駅北口青梅街道沿い
6 番のりば（荻 14）石神井公園駅南口行き
（上井草駅経由）上井草駅
7 番のりば（荻 15）長久保行き（上井草駅経由）上井草駅

連載 この人・この曲 ～第26回 大西嘉彦さん『おまえに』～

今号のゲストは、4月10日スタートのカフェサロン上井草の発起人（キャプテン）、大西嘉彦（おおにしよしひこ）さん。大西さんは奥さまが入所されていた上井草園の利用者家族であり、上井草ふれあいの家の歌の会をハーモニカで伴奏するボランティア、ケア24上井草のサポーターで介護者家族会のメンバー、そして社会福祉法人サンフレンズの評議員と、サンフレンズ上井草の建物の中で幅広く活躍してくださっている方です。

大西さんは昭和8年、江戸川生まれ葛飾育ちの82歳。幼少時は、姉たちがオルガンで弾いていた童謡・唱歌をいつも耳にしていました。中学生になった頃、姉が嫁ぐ際にオルガンが処分されることになり、それに代わって手に入れた楽器がハーモニカでした。子どもが街に出ることがまだ危険だった戦後混乱期の中学3年の頃、優しい男の先生が「学校に蓄音機を持って来るから、一緒にレコードを聴かないか？」と誘ってくださり、5人の仲間と放課後の図書室で初めて聴いたメンデルスゾーン。以降、先生が貸してくれた数枚のレコードを仲間と毎晩9時過ぎまで聴きました。夜、当直の教師に見つかって叱られたりもしましたが、おかげで不良仲間にも引き込まれず卒業することができたそうです。

奥さまの**恭子さん**は美容師で、当時まだ珍しかったヘアカラーの専門インストラクター。大西さんと同じビルにお勤めだったことが馴れ初め。携帯もポケベルもない時代、二人は同じ社内のエレベーターの木壁に刺した画鋲の位置で密かにデートの約束を伝え合ったそうです。昭和39年、大西さん31歳、恭子さん26歳のときにゴールイン。その後、2人のお子さんに恵まれ、よく家族でドライブ旅行をされたそうです。

ところが、愛妻の恭子さんが63歳でパーキンソン病に…。発病から7年経った頃から声が出にくくなってきたため、歌うことが発声練習になるからと初めてカラオケに行きました。以後、毎週1～2回、毎回2時間、団地の4階からの階段の昇り降りを介助しながら通い続け、一緒に楽しく歌ったそうです。しかし病状は徐々に進み、ついに在宅での介護が難しくなった平成25年に上井草園にご入所。大西さんは、頻繁に上井草園に通い、施設入所後も可能な限り恭子さんと一緒に時間をつくりました。そんな頃、上井草園の生活相談員に誘われて、介護者家族会『なでしこの会』やボランティアにも参加されるようになりました。大西さんがハーモニカを吹いて歌の会でボランティア活動をされるときは、その傍らにいつも恭子さんの姿がありました。残念ながら恭子さんは今年1月に永眠されましたが、大西さんはその後もサンフレンズに関わってくださっています。「妻が倒れた直後、どうして良いかわからなかった自分を助けてくれたのが介護家族の会でした。その経験から、もっと高齢者やその家族とコミュニケーションの機会を持ってないかと思うしていました。カフェサロンの提案も、自分たちのように、人と人が触れ合うことや歌を通じて元気になれる人が他にもたくさんいるはずだと考えたからです。」と大西さんが語ってくださいました。カフェサロン上井草は、お二人の想いが実を結んだものなのです。

そんな大西さんが選んでくださった曲は『おまえに』。カラオケを始めるにあたって、恭子さんが買ってきた練習カセットに入っていた曲で、初めて二人でカラオケで歌った曲だそうです。



歌う恭子さんに寄り添う大西さん。二人はいつも一緒。

『おまえに』 フランク永井 岩谷時子作詞・吉田正作曲

そばにいてくれる だけでいい
だまっけてもいいんだよ
ぼくのほころび 縫えるのは
おなじ心の 傷をもつ
おまえのほかに 誰もいない
そばにいてくれる だけでいい

そばにいてくれる だけでいい
泣きたいときも ここで泣け
涙をふくのは ぼくだから
おなじ喜び 知るものは
おまえのほかに 誰もいない
そばにいてくれる だけでいい

そばにいてくれる だけでいい
約束をした その日から
遠くここまで 来た二人
おなじ調べを 唄うのは
おまえのほかに 誰もいない
そばにいてくれる だけでいい

この曲を You Tube で聴いてみよう→<http://www.youtube.com/>

シベリア抑留中につくった『異国の丘』で注目を浴び、作曲家デビュー、その後『有楽町で逢いましょう』『誰よりも君を愛す』『いつでも夢を』など昭和30年代のムード歌謡を支えた作曲家・吉田正。彼が自らの人生を陰で支え続けた夫人に対する感謝の念を込めて作った作品であり、吉田夫妻と親交のあった岩谷時子が同夫妻の仲睦まじさをイメージして作詞したものです。

元々は昭和41年に発売されたフランク永井のシングル『大阪ろまん』のB面曲でしたが、恩師・吉田正の本曲に対する強い思いから、フランク永井はコンサートや紅白歌合戦などで歌い続け、更に有線放送やカラオケブームなどで本曲が日本全国に広まったことも手伝って、昭和52年にシングルA面曲として再録音・再発売し大ヒット。フランク永井の集大成の曲とも言われています。

ホームページ「ウィキペディア」から一部引用させていただきました。

4月1日 一般社団法人 困ったときのSOSが発足

サンフレンズがこれまで実施してきたSOS事業は、4月1日に発足する「一般社団法人困ったときのSOS」が引き継ぎます。サンフレンズは「一般社団法人困ったときのSOS」と事業提携協定を結び、今後もSOS事業の運営に携わっていきます。

SOS事業の沿革と事業提携までの経緯

2007年、サンフレンズが杉並区から受託している地域包括支援センター・ケア24上井草で、管轄地域高齢者の生活実態調査を行いました。この調査により、高齢者が日常生活を営んでいく上で、介護保険制度や公的支援事業だけでは解決しきれない生活上の困りごとが多々あることが明らかになりました。それらをどのように解決していくかについて、民生委員や社会福祉協議会等、法人外の地域の関係機関・関係者を加えて検討を重ね、サンフレンズの地域貢献事業として既存のサービスでは対応しにくい「ちょっとした困りごと」に対して地域住民同士の相互扶助精神で解決していくSOS事業（SOS＝サンフレンズ・オリジナル・サービス）を創設、西武新宿線上井草駅前のアパートの一室に事業所を構え、2011年4月から事業を開始しました。この事業は被支援者やサロン参加者の安否確認にもなり、地域のニーズや情報の把握にもつながりました。また、関係機関とも密接に連携しながら、地域への目配りの一助になってきました。

事業開始から5年が経ち、今後もこの地域住民同士の相互扶助事業がフットワーク軽く柔軟に運営されていくためには、社会福祉法人による運営でなく事業運営に携わっているボランティアの自主性・自律性・機動性を活かせる組織による運営への切り替えが必要と考えました。そこで2015年度の1年をかけ、サンフレンズとSOS事業運営ボランティアの間で一般社団法人を設立しての事業移行について検討を重ね、2016年4月、困ったときのSOSを発足することになりました。

事業提携の目的

現在、自治体による地域包括ケアシステム、介護予防・日常生活支援総合事業の構築への取り組みが進められています。今後の社会福祉法人改革においても、社会福祉法人による地域における公益的な取組みや地域公益事業の実施が求められています。そんな中、社会福祉法人が創設した先駆的な地域公益事業であるSOS事業は大きな注目を集めています。

そのような点から、今後も地域住民が安心して日常生活をすごせるよう、住民同士による支え合い活動が安定して運営されることを目的に、サンフレンズと困ったときのSOSは事業提携協定を結び、協力・協働関係を保ち、それぞれの持つ力・特性・資源等を互いに活用していきます。

事業提携の内容

- (1) 情報共有・情報交換のための定期懇談会の開催
- (2) サービスの相互紹介
- (3) 広報・情報発信・イベントの共有
- (4) 活動ボランティアの募集・コーディネート・開発
- (5) 活動場所・設備や備品の共有
- (6) 職員研修・学習会等の共有
- (7) 事務等の相互負担
- (8) 上記事業を行うための職員の相互協力



物品ご寄付のお願い

毛糸(未使用)、和(着物)生地、木綿夏糸、フェルト

SOS サロンや上井草ふれあいの家の編物クラブ・手芸クラブで使います。



一般社団法人 困ったときのSOS

新組織に事業を移行するにあたり、4月から年度会費をいただくことになりました



- ①困ったときのSOS支援にて支援サービスを受ける方、支援サービスを提供する方は、一般会員として登録（年度会費 500 円）していただきます。
 - ②SOSふれあいサロンに参加する方は、施設利用会員として登録（年度会費 1,000 円）していただきます。
 - ③その他の会員として、社員（困ったときのSOSの目的に賛同し運営に参加する方／年度会費 1,000 円）および賛助会員（困ったときのSOSの目的に賛同し金銭的に活動を支援する個人および団体／年度会費一〇,3,000 円）があります。
- ※既会員の方には、4月中に会費納入依頼書をお届けします。

困ったときのSOS支援事業

電球が切れてしまい、椅子に乗って交換しようとするけれど届かない…。買い物に行かなければならないけれど、体調を崩してしまって行けない…。このような既存のサービスでは対応しにくい「ちょっと困った」に対して、SOS 応援隊のボランティアが「ちょっとお手伝い」にお伺いします。ボランティアには介護等の専門性は求めません。お知り合いが困った時に手を貸す程度の支援活動です。

あるときは困っている立場でお手伝いを受け、またあるときは応援隊として手伝える立場になります。「お互いさま」の気持ちを持った地域住民同士による相互扶助活動です。

- ※支援活動提供地域は、歩いて行ける事業所近隣（詳細ご相談ください）を対象としています。
- ※ご利用料金は 200 円／10 分です。お電話にてご相談下さい。支援内容や時間によっては対応できない場合もございます。支援ボランティアさんに対しては、わずかですが 80 円／10 分の活動費を四半期に一度まとめてお支払いします。

SOSふれあいサロン事業

事業所『困ったときのSOSセンター』を、地域の皆さんが気軽に集えるサロンとして開放しています。サロンでは、茶話会、会食、クラブ活動（編物、手芸、大正琴、麻雀）、お出かけサロン（外出行事）などを日替わりで行っています。新年度からは、地域に出張してのサロンなども計画しています。

老若男女・年齢の制限なし、予約不要。お一人でフラッと寄ってみるのもよし、お友達をつれてくるのもよし、小さなお子さんやお孫さんを連れてのご参加はさらに嬉しいところ。一杯のお茶から、障がいの有無・世代を超えた交流を深めていただきたいと思います。



手工芸クラブ（月曜日）の様子

- ※茶話会とクラブ活動は 1 回 200 円、会食は 1 回 600 円、お出かけサロンは実費をいただきます。

「ちょっと困った」方も「ちょっと手伝える」方も、まずはご相談を…

私たちは「誰かを支え」同時に「誰かに支えられて」暮らしています。ちょっと困っている方、ちょっと手伝ってもいい方、サロンに参加してみたい方、どうぞお気軽にご相談ください。ともに支えあう地域づくりにあなたも参加してみませんか？

一般社団法人 困ったときのSOS

場所：〒167-0023

杉並区上井草 2-35-2 朗栄荘 205 号

上井草駅南口からバス通りを南（荻窪方面）に徒歩 2 分

事業日：月曜～金曜、午前 9 時～午後 5 時

土、日、祝日、年末年始はお休みです

電話：03-5303-4246



いつもありがとうございます
ボランティアさん大活躍写真集



2月19日(金)、ボランティア講座 Vol.2『傾聴活動と回想法～会話で楽しむ傾聴～』は、参加者35名の大盛況。講座を広く知らせてくださった傾聴ボランティアグループの皆さんに感謝します。



2月20日(土)、大宮ふれあいの家での世代超越ジャズ・セッション。サックスの久峯さんは、ふれあい音楽祭 in 永福にもゲスト出演予定。



2月21日(日)、グループあさがやのご協力によるホーム喫茶からのひとコマ。



1月から活動開始、上井草ふれあいの家でカレンダーづくりのお手伝いや折り紙を教えてくださいの大崎さん。



上井草で囲碁のお相手活動をして下さっていた池さんは、3月からサンフレンズ善福寺にも活動を拡大。



第2回 ふれあい音楽祭 in 永福

男声ダブルカルテット BHC (ベーハーコール) 田村典子チーム
混声合唱 大宮中学校 OB・OG コーラス・指揮：岩崎雄治郎
大正琴 STO (サンフレンズ大正琴オーケストラ)
ジャズ あいあいコンボ featuring 久我謙二



ヨーデル 熱田健 (特別出演)

朗読 齊藤まち&麻田枝里 (友情出演)

日時：5月15日(日)

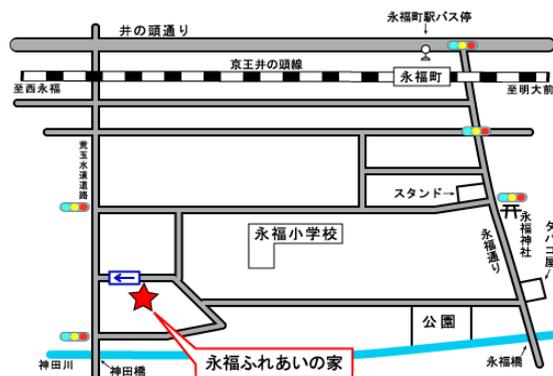
午後1時開場、1時30分開演

場所：永福ふれあいの家

杉並区永福 2-14-20 京王線永福町下車徒歩12分

☎03-3327-5811 (当日連絡先)

入場無料・申込不要



主催：社会福祉法人サンフレンズ ふれあい音楽祭実行委員会
お問い合わせ：社会福祉法人サンフレンズ事務局地域福祉推進担当 金子 ☎03-3394-9833
メール hozumi-kaneko@3friends.or.jp ホームページ [サンフレンズ](#)